



浄万寺



上弁城



新町



迫



宝珠



春田



久六



岩屋神社神輿

流れる白

弁城の祭り *White*



フォトレポート
弁城祇園祭

待ちに待った2年に1度の祇園祭です。荘厳な神輿を守る山笠が集い、流麗な馬籠が青空に弧を描き舞いました。

岩屋神社の祇園祭が5月12日から13日までの2日間、弁城地区一帯で行われました。初日はすっきりとしない天候でしたが、翌日は快晴に恵まれ、勢いある囃子の音が新緑の山々とこだまするように響き渡りました。この祇園祭山笠の特徴は大きく2つあります。一つは見てまずわかるとおり、目に飛び込んでくる見事な馬籠。およそ4mのしなやかな馬籠は、山笠が傾くたびに大きく弧を描きます。青空に白い線が幾重にも重なり、すがすがしさを演出しました。そしてもう一つの特徴は囃子。祇園祭の囃子は笛を加えず、太鼓と鉦でリズムをたたき出します。笛がない理由は「縁起かつぎ」だとか「ケンカ囃子」だからなど諸説ありますが、この囃子が祇園祭独特の雰囲気醸し出しています。山笠運行は2年に1度というだけあって、子どもから大人まで、掻き手も待ちわびて迎えた祇園祭。高低差のある弁城地区で、7つの常会それぞれが声をからしながら堂々と練り歩きました。



岩屋神社の鳥居前、第一保育所横の広場で行われた競演会。